

# 大阪市「思想調査アンケート」国家賠償訴訟第1回弁論

## 市長は反省し 職員が仕事に専念できる環境づくりを！

10月3日

10月3日大阪地裁809号法廷で行われた第1回弁論では、傍聴者希望者・支援者が200人を超え、傍聴席に入りきれない支援者約160人が廊下にあふれました。原告団長の永谷孝代さんと原告団事務局長の川本正一さんが陳述、さらに西晃弁護団事務局長が意見陳述しました。

# 憲法と民主主義 人間の尊厳をかけた闘い



弁論終了後の報告集会（中之島公会堂）

市民のために仕事したい  
子どもの笑顔 守りたい  
だから提訴にふみきった

弁論で、川本さんは「市長直筆の業務命令を前に本当に悩みました。初めて、仕事のことで家族と相談しました。ひよっとしたら懲戒免職もあるかもわからないという私に、子どもは『お父さんの正しいと思うようにすれば』と言ってくれました。あかんことはあかんと言え職場にしなければ。『俺の顔色だけをうかがうとけ』という市長の方ではなく、市民の方を向いて仕事ができるようにがんばろうと思いました」と



原告団事務局長  
川本 正一さん

述べました。永谷さんは、「処分」という文字に脅威を感じました。市長のいうことに従わないと本当に処分されるかもしれないと思いました。けれど、保育士の多くは『子どもたちに向き向き合いたい』『これは私の生き方だから』と提訴に踏み切ったのです」と涙ながらに訴えました。



原告団長  
永谷 孝代さん

西弁護士は、「アンケートは市長の職務命令によって強制した公権力の行使である。人の心に秘めておくべきことに土足で侵入した。たとえ選挙の『民意』で選ばれた市長であっても、基本的な人権を侵害する行為を行う権限など一切与えられていない」と指弾しました。

「憲法がいきる市役所に」  
たたかう決意固めあう

報告集会で弁護団長の井関和彦

護士が「市長が人権を踏みこじっていることを許してはならない」と報告。さらに西弁護士は「市長は処分を脅しながら『野村顧問を中心とする第三者チームがやったこと』と強弁。市長であっても、個人の領域に踏み込んではいけません」と強調しました。



裁判所前で支援をよびかけ

また、大阪市「思想調査」裁判を

ささえる会の渡辺武代表（元大阪城天守閣館長）は「市長は責任者として謝罪もしていない。とうてい許される話ではない。原告団の正当なたたかいを強く支持し、闘い抜く」と力強く発言しました。

大阪自治労連の大原委員長は「今回の裁判は、単に大阪市職員の権利を守るだけでなく、憲法と日本の民主主義を守る闘い。同時に閉塞感漂う日本社会で、橋下・維新の会の野望を許さず、沖繩や原発の国民的な闘いと連帯で新しい社会を切り開く運動として取り組む」と、決意を述べました。

# 「共同の力」を広げて 府民の要求実現を

9月21日、府職労は9つの住民団体と各支部役員も参加した「住民団体懇談会」を総勢45人で開催しました。

.....  
職員の専門性を発揮し  
住民要求に応えたい

懇談会の冒頭、有田副委員長が、府職労の取り組みだ「職場から仕事を見直すアンケート」の結果を報告しました。「府民はじめの攻撃に歯止めをかけ、府職員としての専門性を発揮し、今こそ、仕事のあり方を見直すことが、住民要求に応えて効率的な府政に転換できる大きな力につながる。憲法と地方自治に基づく地域住民の幸福を追求する立場から、広範な府民に

.....  
支持と共感を得られる要求  
づくりと運動の具体化を進  
めたい」との決意を述べま  
した。

.....  
府職員と住民の共同で  
要求を実現しよう

住民団体のみなさんから  
は、生活保護、府営住宅、  
食の安全、原発、防災、ま  
ちづくり、男女参画、保育  
・子育て、医療・社会保  
障、府立病院の機能強化な  
ど、さまざまな分野での豊  
かな活動経験と府政に対す  
る願いが語られました。

.....  
の日々の活動が、行政を補  
完する役割を果たしている  
ことを実感しました。参加  
者から、「今後も定期的なこ  
ういう場をつくってほし  
い」など、期待の声が出さ  
れました。

.....  
橋下「維新の会」による  
自治体職員と労働組合に対  
する攻撃が強められ、住民  
とを分断しようとしている  
です。こんな時だからこそ、  
住民の願いが届く府政、や  
りがいのある仕事を実現す  
る運動とを結合し、さらに  
住民共同を広げる決意をあ  
らたにしました。

## 府職労が「住民団体懇談会」を開催



今月のキーワード

働くまでこ大作戦

「女性の活躍促進で経済活性化を推進する」ため、社会、特に男性の意識が変わらなければならないし、意思決定の場における女性の参画が進まなければ社会は変わりません。まず「腕から始めよ」と公務員から行動を起こすこととしていますが、均等待遇原則の実効化、長時間過密労働の規制が具体化されていません。

今月のキーワード

ゲートキーパー

自殺対策に関する知識を持つ人のこと。「命の門番」と言われます。(Gate keeper 英語で門番の意味) 地域や職場で発せられる自殺のサインにいち早く気づき、適切な対処を行い、専門相談機関へつなぐ役割を担う人のことです。